

# インドゾウを用いた来園者サービスの一例

## ～トレーニングの公開 エレファントライブ～

財団法人横浜市緑の協会動物園部 横浜市立よこはま動物園 高橋 文彦  
太田 真琴

### はじめに

横浜市立よこはま動物園（愛称：ズーラシア）では1999年3月13日に3頭のインドゾウが来園した当初より、ゾウに直接接触をする飼育方法（直接飼育）を基本に担当者とのトレーニングを実施している。同年の4月24日の開園当初より、来園者に対して行う動物についてのガイドの一環として、展示場にて解説付きでトレーニングを行ってきた。2006年8月より試行的に解説に合わせた形でトレーニングを公開し、同年9月からエレファントライブと題して本格的に公開した。なお、現在では、メスの2頭は直接飼育を続行しているが、オスに関しては2001年6月より、直接接触せずに、檻を間にはさんだ形でのみ接触を行う飼育方法（準間接飼育）に移行している。

### ズーラシアにおけるゾウのトレーニング

現在のトレーニングの内容と目的は、展示場に出したり獣舎に収容したりするときなどに必要不可欠な移動・停止など、基礎的な制御に加えて、大まかに以下のようなものである。

診療や治療の充実（病気等の早期発見及び早期の対処を行う）

採血の継続と馴致（化学的な診断、性ホルモンの動態測定を行う）

足・蹄のケア（毎日の洗浄、消毒、削蹄を行う）

皮膚の手入れ（体洗いや冬期間のアカギレ予防のための軟膏塗布を行う）

パフォーマンス（ゾウの持つ能力を担当者が発見すると共にそれを来園者へアピールする）

こういった日々のトレーニングは、動物園という環境でゾウという動物を（ゾウにとっても担当者にとっても）安全に飼育する上で非常に重要なことであるが、ズーラシアではさらに、上記の から までのような健康管理としてのトレーニングを行った上で、エレファントライブというパフォーマンスを来園者向けに行っている。

### エレファントライブの内容

現在、エレファントライブは、毎朝9時45分～10時15分ごろの間にパフォーマンスと前後の話しを含めて約30分かけて行っている。

このとき来園者により楽しんでもらえるように、まずパフォーマンスの前にゾウを寝ることを来園者に呼びかけ、エレファントライブに一体となって参加してもらえるよう心がけている。そしてエレファントライブ開始と同時に音楽を流している。

エレファントライブの内容は、

モート（堀）を隔て、離れたところから指示を出して行うオスゾウのトレーニング（現在は直接飼育でのトレーニングを行っていないオスのゾウに対しても、離れていても制御できることを見てもらう）  
メス2頭による丸太の上げ下げ（ゾウの力やゾウ・担当者の息の合った動きを見てもらうとともに、昔インドやタイ地域で丸太を運ぶ仕事をゾウの力を借りていたということも来園者に知ってもらう）

3頭のゾウによる同時の同じ動き（簡単な号令の紹介や、ゾウが座ったり寝たりする、日常ではあまり見られない動きについて見てもらう）

足乗せ台を使った脚の管理（ゾウの健康管理の大切さを来園者に知ってもらう目的で行っている）  
楽器の演奏・帽子被せ・生け花・お絵かきといった、鼻を使ったパフォーマンス（ゾウの鼻の器用さ・柔軟さを来園者に見てもらい、日常におけるゾウの鼻の重要性を知ってもらうとともに、ゾウがある程度道具を使えることを知ってもらう）

〔夏季限定〕氷噴き（水を飲んだりするときにも鼻が重要な役割を持つことを知ってもらうとともに、来園者にゾウの噴いた水を浴びてもらうことでライブに参加している一体感を持ってもらう）

サッカー・フリーキック（ゾウのダイナミックな動きも楽しんでもらう。またゾウが加減してボールを蹴り、ゾウが加減も出来る動物であることも来園者に見てもらう）

ゾウが背中にゼッケンを付けて行進する（制御している担当者の指示通りに歩かせるということは非常に重要なトレーニングのひとつである。この時、園が行っているさまざまなイベントの一環としていろいろなゼッケンを付けて行進を行う）

こういったパフォーマンスを見てもらった後、ゾウたちに餌を与えるが、この餌にあわせて個体紹介や採食量の話、野生下における現状の話などを行う。

### **エレファントライブを行う意義**

エレファントライブを行っているときは、担当者全員にそれぞれ役割があり、一丸となって行うことでチームワークの充実を図ることができる。ゾウの直接飼育には、チームワークが大切なため、このことはエレファントライブを行う上で大きな目的となっている。またエレファントライブには現在のトレーニング内容が全て取り込まれているため、ゾウの制御力の向上が図れる。さらに、来園者に対し楽しい雰囲気の中でゾウという動物に、より興味を持ってもらうと共にパフォーマンスを通して、ゾウの能力、自然界における現状を知っていただくことができる。このようにズーラシアにおいてインドゾウを飼育展示する上で、エレファントライブは非常に重要な意義を持っているといえる。